

2022年度 大島地区中学校総合体育大会 軟式野球競技 大会要項

- 1 主 催 大島地区中学校体育連盟
- 2 共 催 大島教育事務所
- 3 主 管 徳之島地区・奄美地区中学校体育連盟
- 4 期 日 北大島：2022年6月8日（水）・9日（木）予備日：10日（金）
南大島：2022年6月7日（火）・8日（水）・9日（木）予備日：10日（金）
- 5 会 場 北大島：奄美市総合運動公園野球場
南大島：BG野球場
- 6 参加資格
 - (1) 参加者は、大島地区中体連加盟の学校に在学し、学校教育法に基づく当該中学校生徒であること。
 - (2) 同一学校生徒で編成されたチームであること。（ただし、期限までに申し込んだチーム校のみとする。）
 - (3) 鹿児島県複数校合同チーム編成規定に準じた合同チームであること。
- 7 試合方法 全試合トーナメント法による。
- 8 大会規則
 - (1) 2022年 日本軟式野球規則及びグラウンドルールは、監督申し合わせ事項による。
 - (2) 使用球－軟式M号球ボール（マルエス）
- 9 申込方法
 - (1) 期限 5月12日(木)までに、大島地区中体連軟式野球専門部長（以下、専門部長）まで必着すること（締め切り後は、受け付けない）。
 - (2) 規定 正規の申込書（選手名簿）を地区中体連事務局ホームページよりダウンロードし、必要事項を記入して、押印した申込書を専門部長宛に送付すること。また、選手名簿とチーム写真データを金久中学校（中野）宛にメール送信（パンフレット作成のため）すること。

(選手名簿申込[郵送]・連絡問合わせ先)

〒894-0511 奄美市笠利町里364番地

奄美市立赤木名中学校 大島地区中体連軟式野球専門部長 田畑 克

TEL (0997) 63-1321

(選手名簿・チーム写真メール先)

奄美市立金久中学校 E-mail kaneku-j@city.amami.kagoshima.jp

1 0 抽 選

- (1) 5月13日(金)14:00より、大島地区中体連理事立会のもとで行う。
- (2) 抽選会に参加希望する監督は出席してもよい。
- (3) 一回戦は、同島の対戦(南大島地区)とならないように可能な限り配慮する。

1 1 シード権について

- (1) シードについては、北大島地区、南大島地区で検討する。~~2チーム(計4チーム)をシードとする。ただし、(北1,南2)、(北2,南1)の形で組み合わせをする。シードに~~
- (2) 北大島地区のシード権について
北大島地区は県春季選抜野球大会北大島予選を含む県予選大会において、優勝チームを5ポイント、準優勝チームを2ポイントとし、合計ポイント上位2チームをシードとする。合同チームが解散した場合は、そのチームのポイントを均等に分ける。
- (3) 南大島地区は春季南大島予選の優勝チームと準優勝チームをシードとする。シード権を獲得したチームが合同チームを新たに編成したり、解消したりした場合は、当該チームのシード権を無効とし、順次シード順を繰り上げる。その際生じるシードの空きについては、優勝チームに敗退したチームを繰り上げる。(準優勝したチームに敗退したチームは次シード候補になる。)

1 2 監 督 会 大会初日の朝、各会場にて打ち合わせを行います。(時間は抽選会時に決定)

1 3 開 会 式 行いません。

1 4 競技に関する事項(大会特別規定)

- (1) 監督は、必ず自校の学校職員(常勤)であること。なお、監督は背番号30をつける。部長、スコアラー(生徒でも可)は自校の教職員とする。選手20名とし他の者はベンチに入ることを認めない。また、外部コーチは部長と同じ待遇とする。
- (2) ベンチは、組み合わせ番号の若い方を一塁側とする。
- (3) シートノックは、決勝戦のみとし、同一球場に限り5分以内とするが、大会運営に支障がある場合は、短縮又は中止することもある。ノックする場合は、背番号をつけない補助員5名(ヘルメット着用)を認める(ノッカーは必ずユニフォームを着用する)。
- (4) 出場チームは、背番号をつける。原則として(①投手~⑳)
- (5) 審判員の宣告に異議を申し出ることは許されない。ただし、規則上の疑義について、監督がアピールすることができる。
- (6) コールドゲームは、5回以降7点差とする。ただし決勝戦は除く。7回を終了し、同点の場合は8回からタイブレーク方式を行う。継続打順で、前回の最終打者を1塁走者、その前の打者を2塁走者とする。すなわち、無死1,2塁の状態にして1イニング行い、得点の多いチームを勝ちとする。勝敗が決するまでこの方式で行う。準決勝以降は10回までに勝敗が決しないときは、最終出場選手9名による抽選によって決する。また、天候その他で試合続行不可能な場合は、5回をもって正式試合とする。
- (7) 正式試合成立前に、降雨等により試合続行が不可能な場合は、翌日中断したところから試

合を再開するものとする。

- (8) 前試合が、コールドゲーム等で予定時刻よりも早く終了した場合でも、引き続きサイドノックを実施し、試合を進行する。ただし、同一チームが続けて試合を行う場合は、最高30分間の休憩後試合を行う。
- (9) 試合中の不必要なタイムは認めない(原則として30秒以内)。メガホンは1個とする(監督使用)。かくし球はしてはならない。
- (10) マスコットバット、鉄棒等、リストバンド、バットリング、滑り止めスプレー、リストガードはベンチに入れない。
- (11) 第1試合及び同一チームが連続して行う試合のメンバー用紙交換及び攻守決定等は、試合開始時刻の40分前とし、その他の試合については、前の試合4回終了時とする。各チームの監督と主将は、本部へメンバー表4部(ふりがなをつける)を提出し、攻守を決める。またその際にケガ等でテーピングなどの処置をする選手は審判に申し出る。
- (12) 試合開始、終了のあいさつは、選手・部長・監督等は、ベンチ前に整列して同時にあいさつを交換する(相手ベンチ前のあいさつはしない)。
- (13) 遠征中・大会中(練習・試合を含む)のけが等については、各学校で対応すること。
- (14) 投手の投球制限について(追加事項)
投手の投球数は、1日100球、1週間の投球数は350球までとする。(タイブレーク方式も含める)ただし、投球数が100球に達した打者までは、100球を超えて投球してもよい。また、1週間に350球に達した打者までは、350球を超えて投球してもよい。
- (15) タイムの制限について
- ① 監督が、同一イニングに同一投手のところへ、2度行くか、行ったと見なされた場合(伝令を使うか、捕手または他の選手に指示を与えて直接投手のところへ行かせた場合)は、投手は自動的に退かなければならない。ただし、他の守備位置につくことは許される。
 - ② 監督が1試合に投手のところへ行ける回数は3回以内とする。タイブレークとなった場合は、2イニングに1回行くことができる。
 - ③ 捕手または内野手が、1試合に投手のところへ行ける回数は3回以内とする。タイブレークとなった場合は、2イニングに1回行くことができる。
 - ④ 攻撃側のタイムは、1試合に3回以内とする。タイブレークとなった場合は、2イニングに1回とることができる。
 - ⑤ 守備側のタイム中に攻撃側が、攻撃側のタイム中に守備側が、それぞれ指示を与えることができるが、守備側、攻撃側のタイムより長引けば、1回とカウントされる。
 - ⑥ 試合進行や大会運営を円滑に行うために、無用なタイムは慎む。
- (16) 正式な球場以外の会場では、各会場の特別規定(グラウンドルール)を適用する。
- (17) 投手が捕手のサインを見る時は、必ず軸足をピッチャープレートにつけて見る。
- (18) 捕手は、ヘルメット・レガース・プロテクター・スロートガード(一体型可)・ファールカップを使用する。
- (19) 公認バット以外の使用は認めない(複合バットの使用を認める。※JSBBがあれば可能)。
- (20) 木製バットを入れることは義務づけない(雷がなったら試合を中断する)。

- (21) 両耳ヘルメットの着帽を義務づける(打者・次打者・走者・ランナーズコーチ)。
- (22) 選手は、試合進行の妨げとならないように配慮する(打者はボックス内でサインを見ること。捕手は野手に声をかけるとき、ホームプレートの前に出ない)。
- (23) 手袋の使用を攻守共に認めるが、投手については認めない。ただし、白または黒の単一色とし、パット入りやリストバンド付のものは認めない。アームスリーブは、テーピングと同じ扱いとし、試合前に相手チーム・審判に申し出た上で、見えないように着用する。
- (24) 監督のユニフォームは生徒と同色・同型・同着とし、シューズは生徒のスパイクと同色を着用する。また、サングラスの着用は認めない。
※ 令和4年度からはチームで白または黒に統一されているものとする。)

15 その他

- (1) 北大島地区、南大島地区それぞれ上位2チームが7月に行われる鹿児島県中学校総合体育大会に出場することができる。地区総体の開催される期間は、梅雨の時期であるため、雨天により順延を余儀なくされることもありうる。ケガの防止やできる限り良い環境で選手にプレーをさせたいとの観点からである。その際には、県総体への出場枠(2022年度は、2校)を決めることに重点を置いて、運営を行うものとする。したがって、順延の程度によっては、準決勝あるいは決勝を行わない運営の可能性もある。順位については、両チーム背番号1～9番による抽選で決定する。
- (2) 少年2部全国大会との兼ね合いを考慮し、補欠校を1校決定する。優勝チームに**準決勝**で敗れたチームを補欠校とする。
- (3) 大会参加、競技、応援については、大島地区中学校総合体育大会軟式野球競技「新型コロナウイルス感染症対策」(別紙)に準じて行うものとする。
- (4) 今年度は奄美大島開催、2023年度は徳之島開催、以降隔年で開催する予定。